

すみ肉溶接部の破面試験

すみ肉溶接部の破面試験により、ブローホール等の欠陥有無を調査いたします。

すみ肉の破面試験の概要

JIS Z 3040に基づくすみ肉溶接の破面試験を行います。6mmから100mmと幅広い板厚に対応できます。

破面試験方法

試験片：片側すみ肉溶接継手

溶接部のルート側が引張側となるように曲げ外力を与えて破断し(図1および写真1)、破面の全溶接線における欠陥有無を調査します(写真2)。

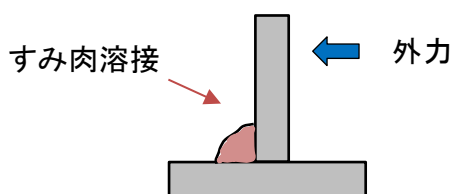


図1 破面試験方法

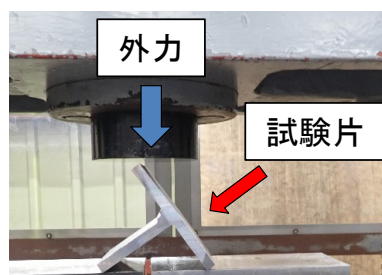


写真1 破面試験状況

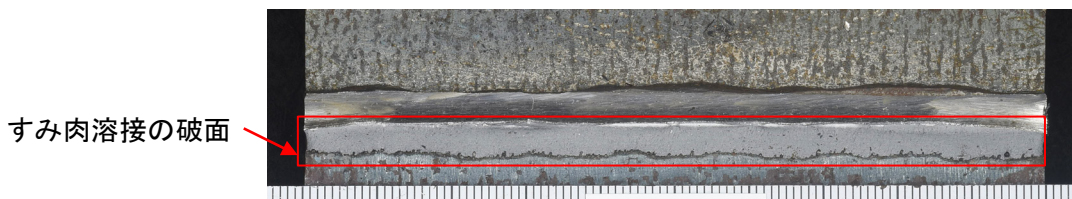


写真2 破面状況

破断方法の一例

- 板厚が薄いと、板自体が座屈してしまい破断できない場合があります。
破断が困難な場合は、補強材を溶接することで破断させることができます(図2)。
- JIS Z 3185「溶接材料の耐ペイント性試験方法」に従い、溶接部にVノッチ加工し破断させることもできます(図3)。

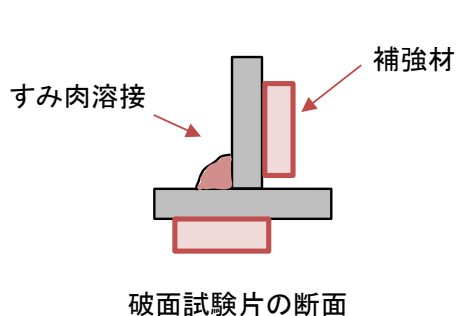


図2 補強材溶接後の試験片状況

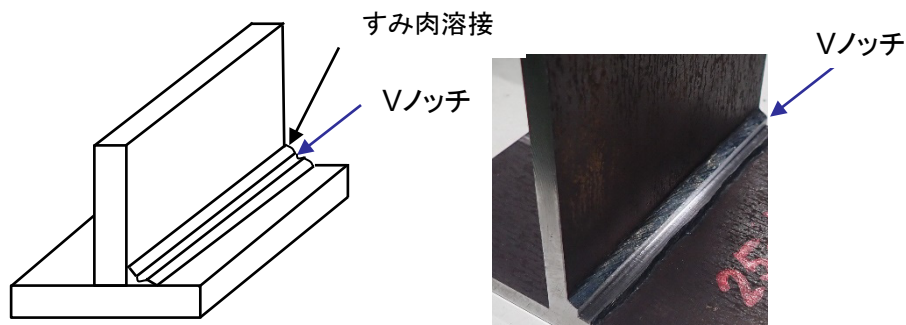


図3 Vノッチ加工後の試験片